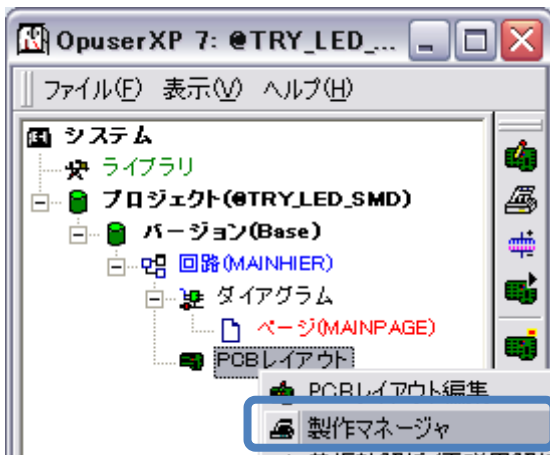


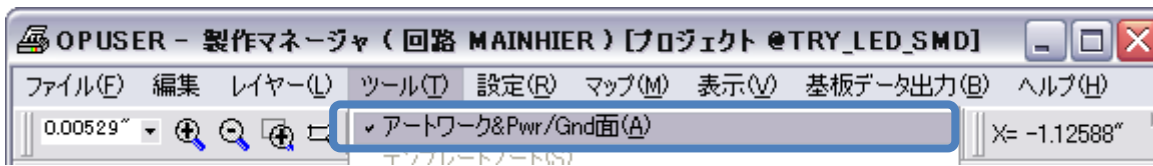
I. LAY&FUB_ベタ面チェックとクリーンアップ

レイアウトで設定したベタ面が、同じくレイアウト上のパターン、パターン回りに挿入されたエアギャップにて、分離/分割されてしまうことがあります。データ出力の前に製作マネージャにてベタ面が分離されないか確認が必要です。

OPUSER メインウィンドウ『PCB レイアウト』の上で右クリックし『製作マネージャ』を選択します。



『ツール/アートワーク &Pwr/GND 面』を選択します。



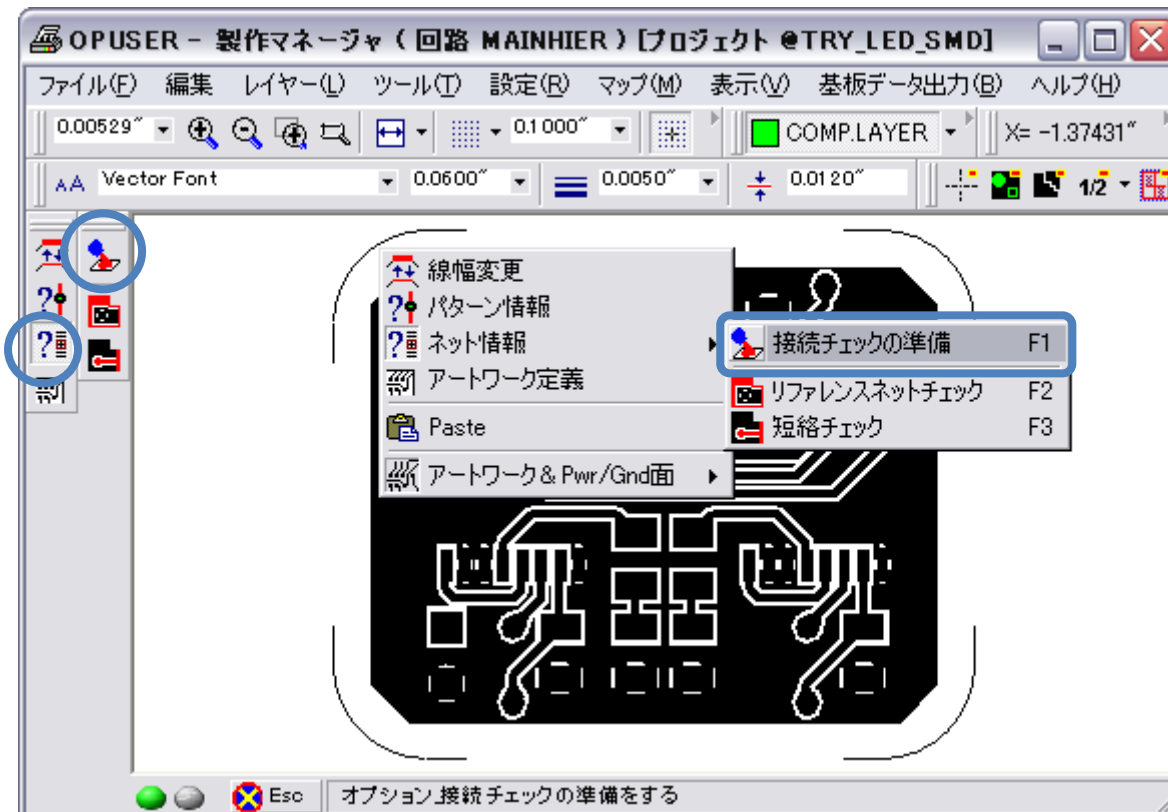
レイヤー選択画面が表示されるので、『自動選択』をクリックし、現在アートワークに使用しているレイヤーを自動選択させます。



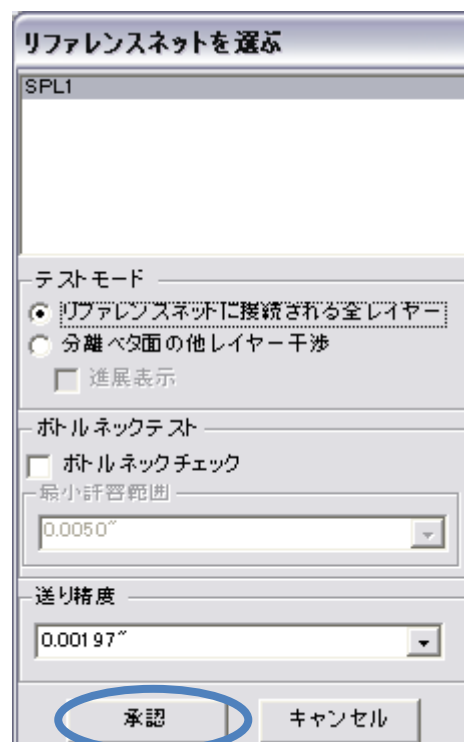
メニュー『レイヤー』からベタ面が配置されているレイヤーを選択



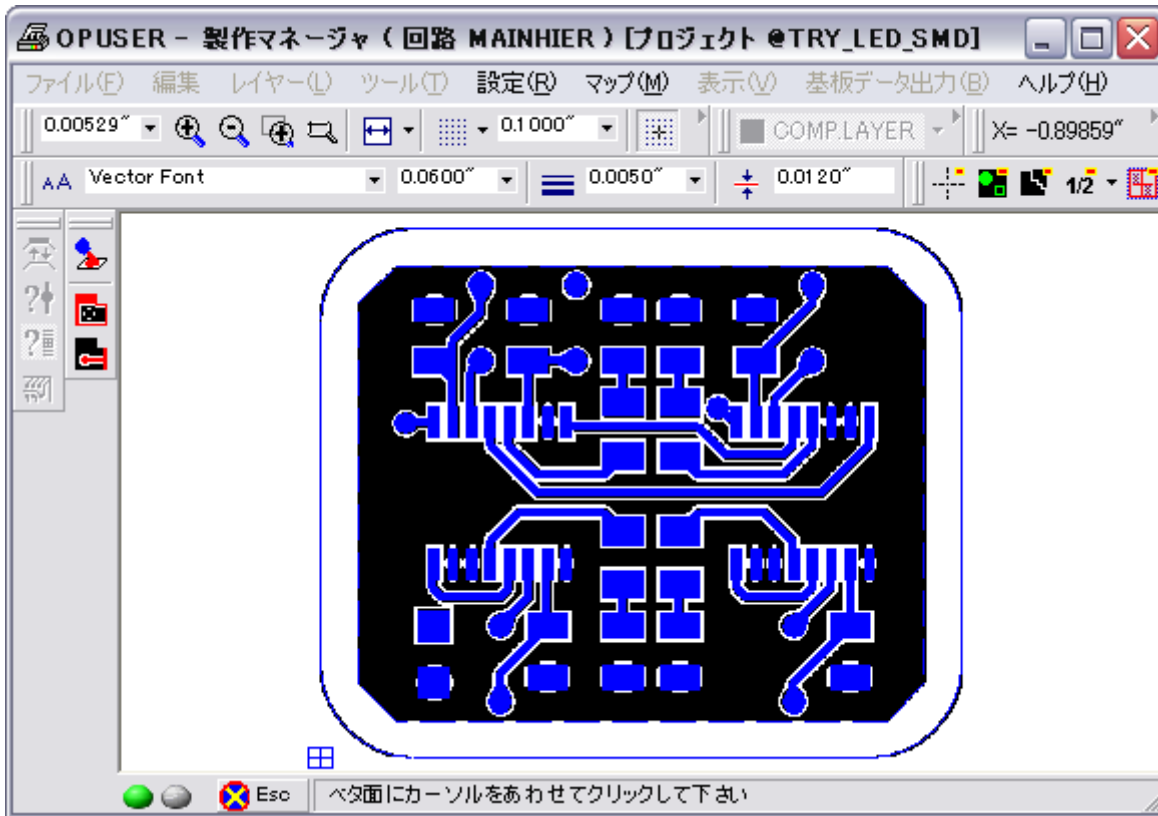
『ネット情報／接続チェックの準備』を選択



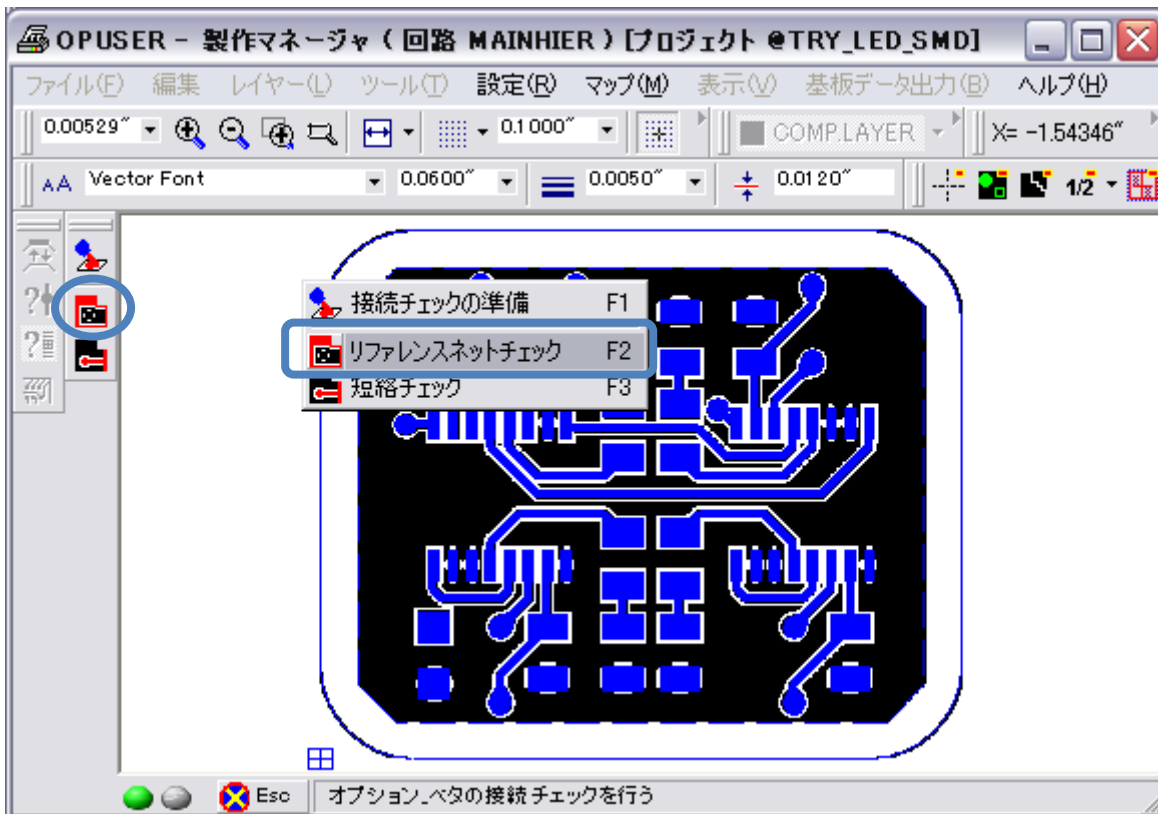
リファレンスネット選択にて『承認』をクリック



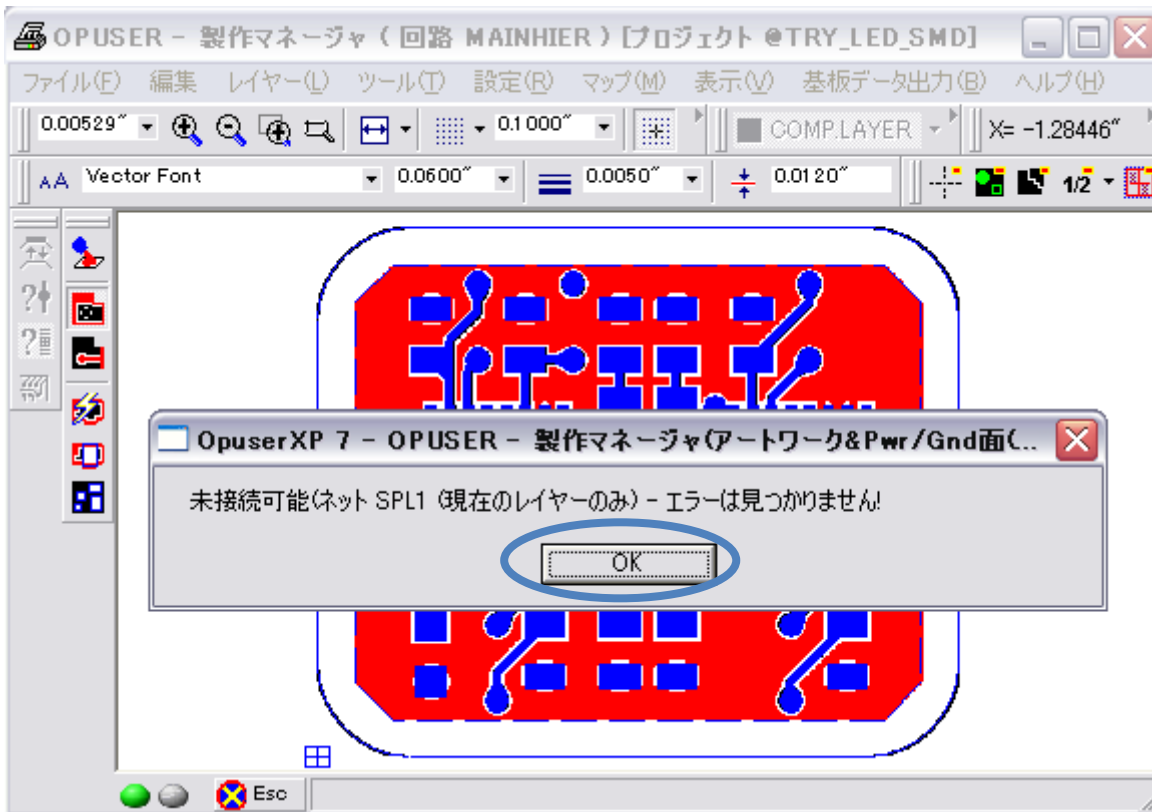
ベタ以外のパターンの色が変わります。



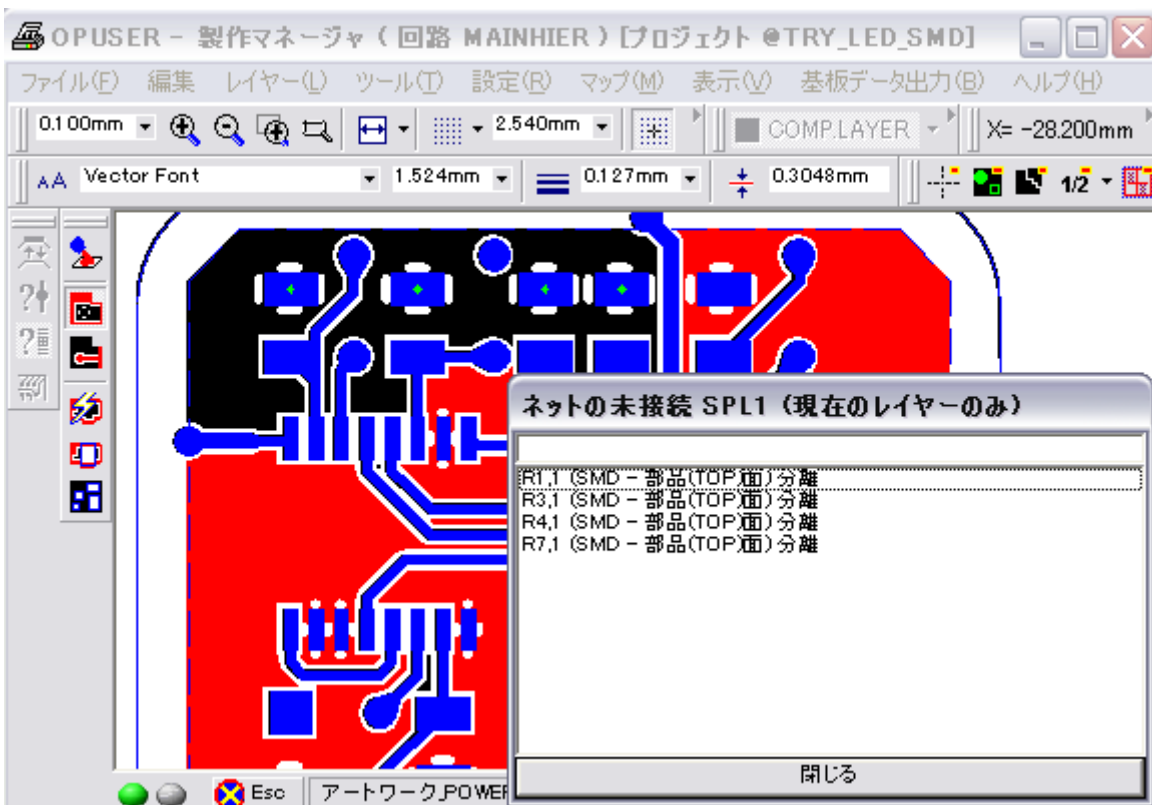
『リファレンスネットチェック』を選択



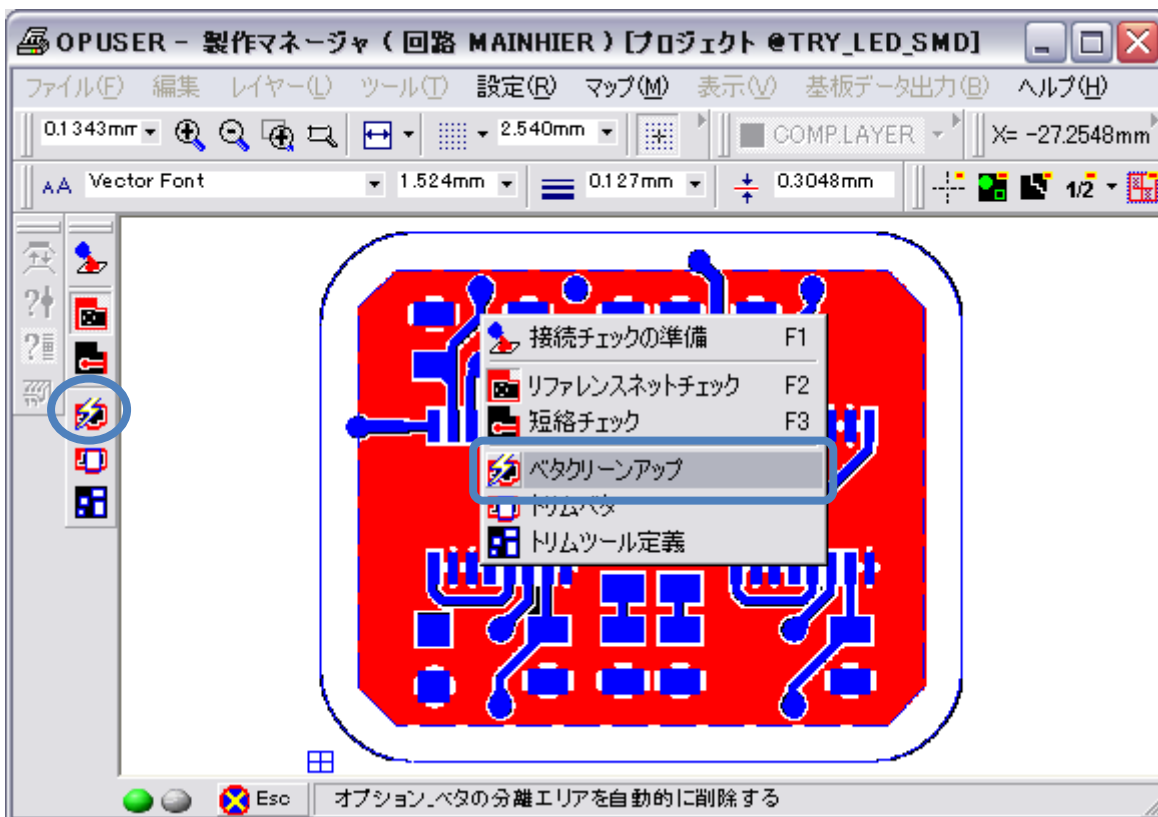
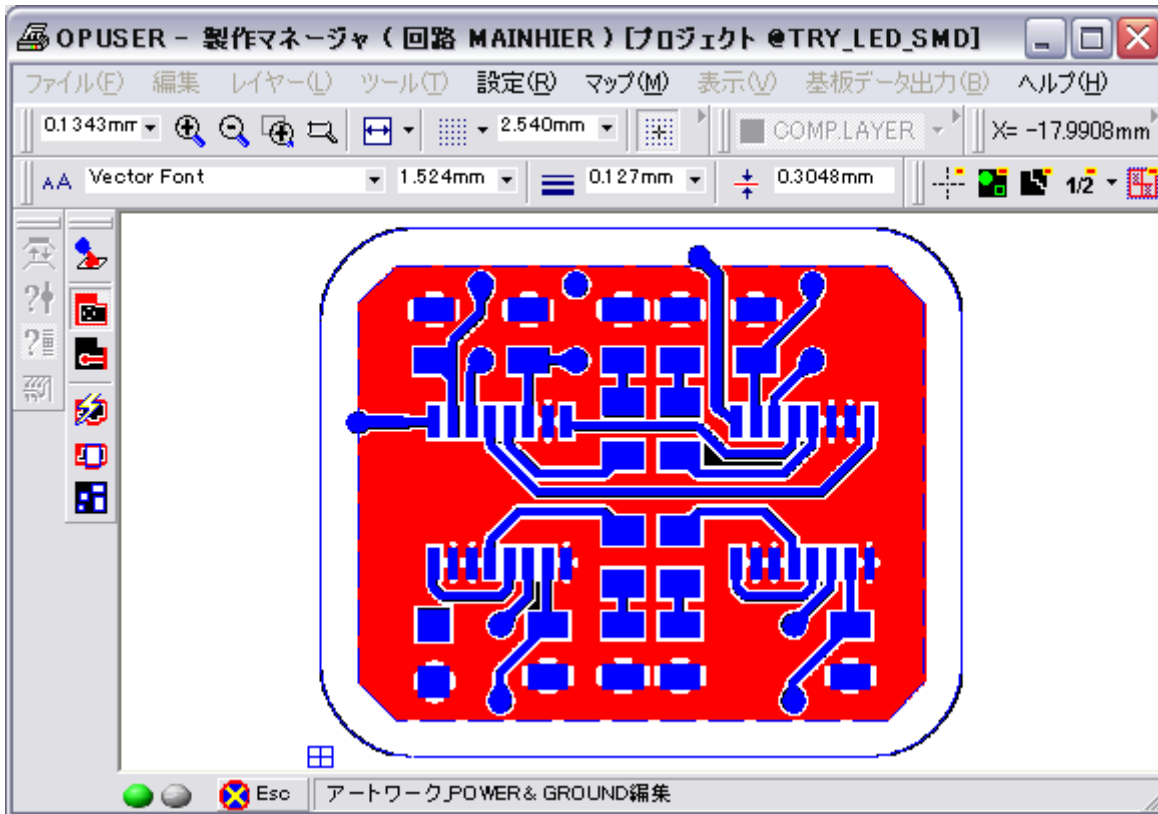
問題無く接続されている場合は、『エラー無し』と表示されます。『OK』をクリック



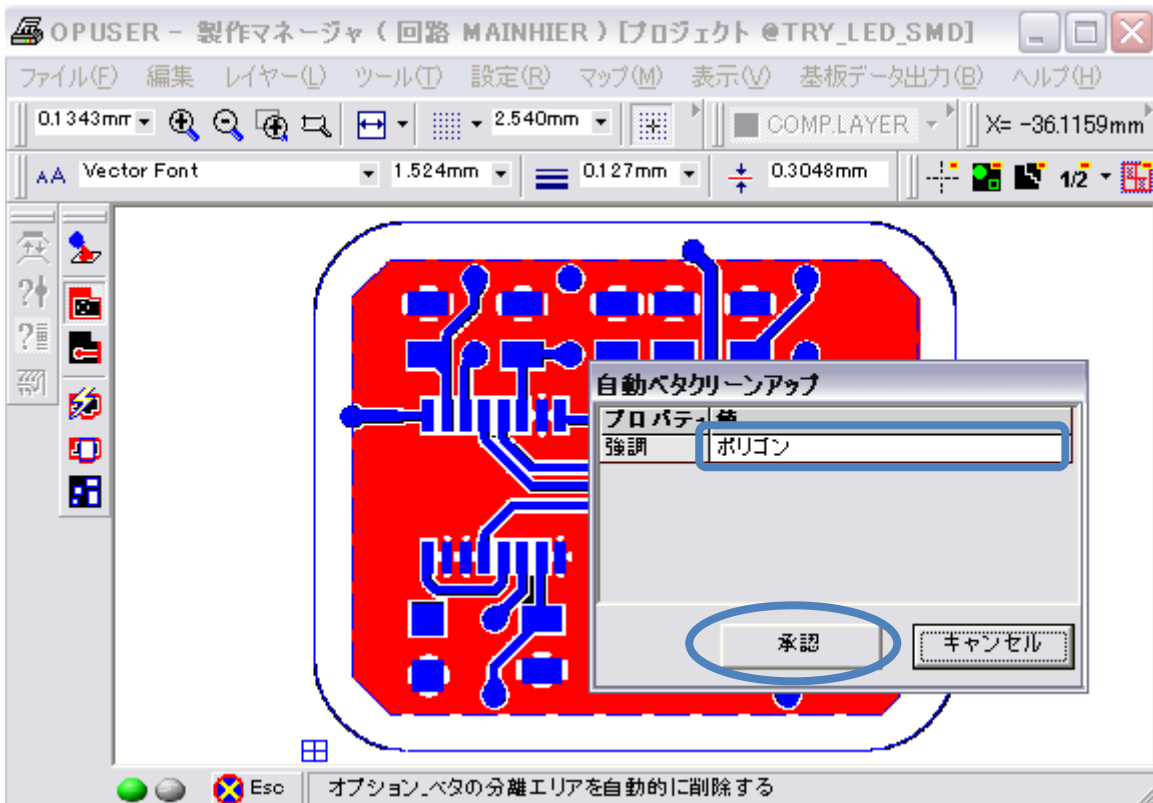
分離されている箇所がある場合、下図の様に色を分けて表示、問題の箇所を記したレポートが表示されます。『Esc』キーを押して選択を解除し、表示された箇所をレイアウトエディタにて修正して下さい



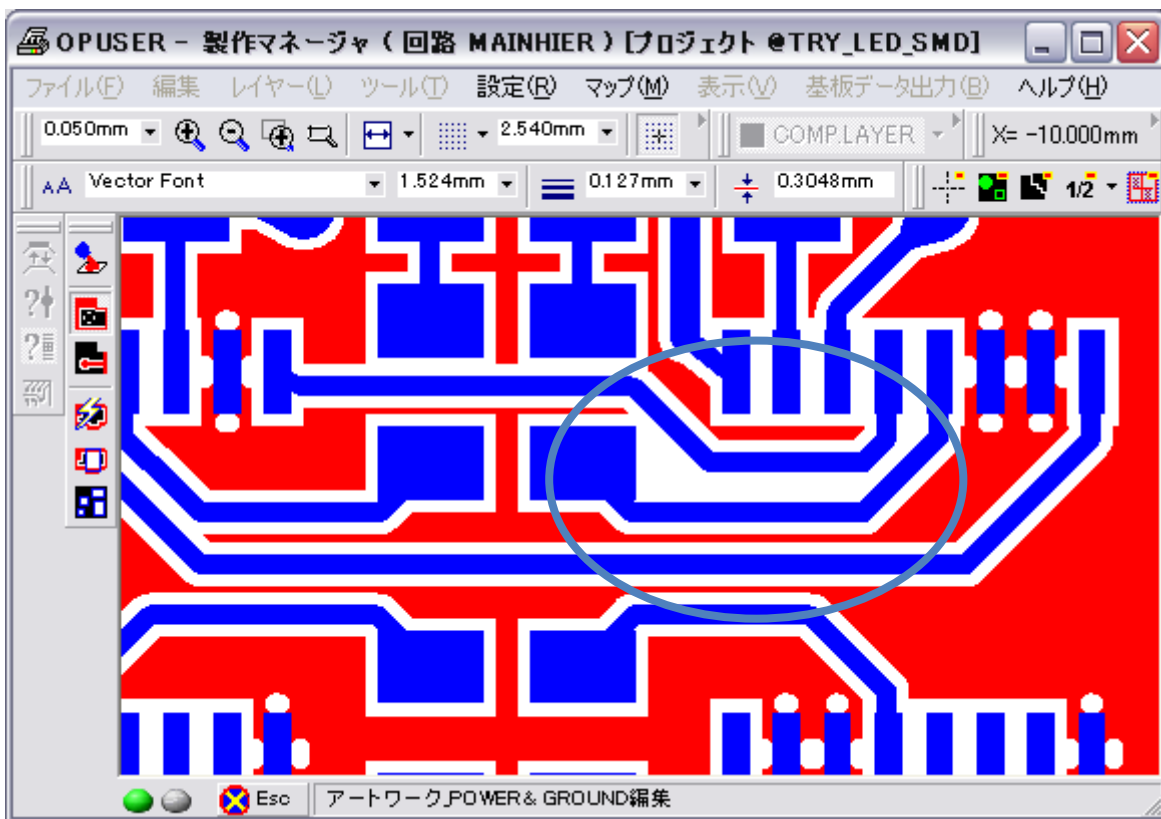
問題がない場合、不要なベタ面を削除するべく『ベタクリーンアップ』を行います。



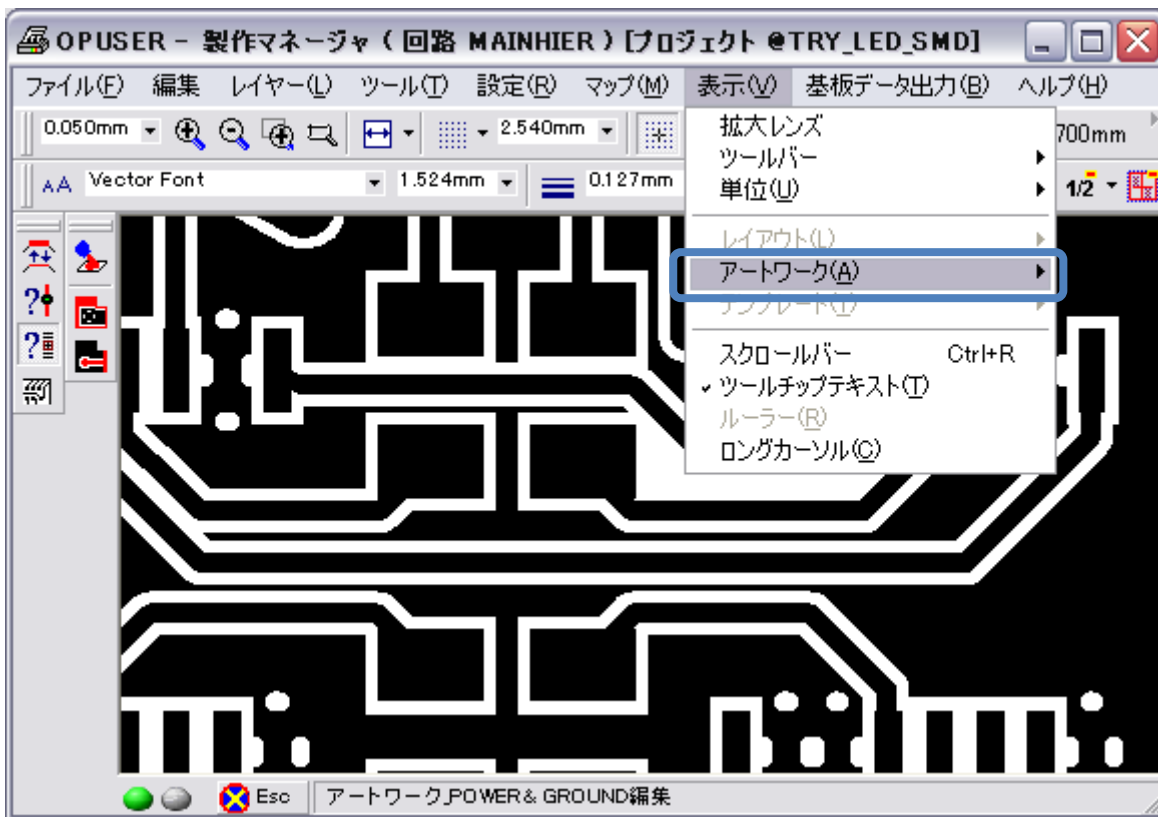
『ポリゴン』を選択、承認をクリックします。



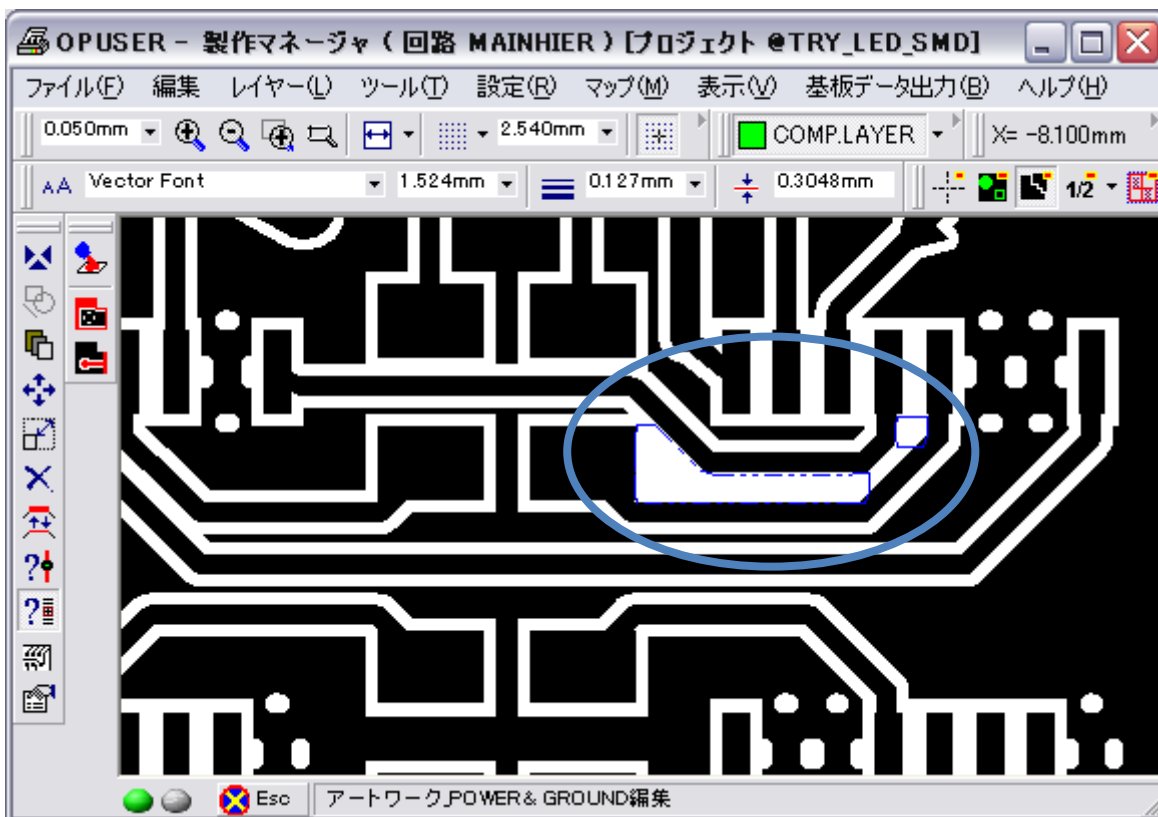
パターンとパターンで囲まれ、他のベタと導通していない箇所を余分なデータとして削除します。



メニュー『表示／アートワーク』から『絶縁領域作成』にチェックをいれます。



クリーンアップの際挿入された図形を確認する事が出来ます。



前述の『絶縁領域作成』にチェックを入れると、マニュアル操作で絶縁領域を挿入する事が出来ます。図形を塗りつぶした状態で切り取る場合は、『アイテムを塗りつぶして配置』を選択して下さい。

マニュアル操作で絶縁領域を挿入した場合は、最後にもう一度『リファレンスネットチェック』を行い、ベタが分離していない事を確認して下さい。

